



# 国語科年間指導計画【論理国語2年】

■単位数

2単位

■使用教科書

新編論理国語（大修館書店）

■目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。  
 (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。  
 (2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。  
 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

■内容

〔知識及び技能〕  
 (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。  
 ア言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解すること。  
 イ論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。  
 ウ文章や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めること。  
 エ文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めること。  
 (2) 文章に含まれている情報の扱い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。  
 ア主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めること。  
 イ情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使うこと。  
 ウ推論の仕方について理解を深め使うこと。  
 (3) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。  
 ア新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めること。  
 〔思考力、判断力、表現力等〕  
 A 書くこと  
 ア実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めること。  
 イ情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえること。  
 ウ立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫すること。  
 エ多面的・多角的な視点から自分の考えを見直ししたり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にすること。  
 オ個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫すること。  
 カ文章の構成や展開、表現の仕方などについて、自分の主張が的確に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすること。  
 B 読むこと  
 ア文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながらいずれも要旨を把握すること。  
 イ文章の種類を踏まえて、資料との関係把握し、内容や構成を的確に捉えること。  
 ウ主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈すること。  
 エ文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価すること。  
 オ関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めること。  
 カ人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めること。  
 キ設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりすること。

■評価の観点とその趣旨

(1) 知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。
(2) 思考・判断・表現	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
(3) 主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

■指導計画

月	単元名	知識及び技能			思考力、判断力、表現力等						言語活動	教材	評価の観点及び評価方法	配当予定時数
		(1)			書くこと			読むこと						
		アイウ	エ	オ	アイウ	エ	オ	カ	キ	ク				
4	論理と出会う	●										「論理的な人」とはどういう人か 野矢茂樹	(1)小テスト・定期テスト	4
5		●										フォーカス「論理」への第一歩	(2)ワークシート (3)ワークシート	4
6	具体と抽象	●										論理の窓①		1
6		●										ウォームアップ・例題	(1)小テスト・定期テスト (2)ワークシート (3)ワークシート	4
7	統計資料を活用する	●										「記号的メディアと物理的メディア」伊藤重紗	(1)小テスト・定期テスト (2)ワークシート (3)ワークシート	4
7		●										フォーカス 具体と抽象を使いこなそう 論理の窓②		3
7		●										ウォームアップ 文章と資料を関連付けて読む	(1)小テスト・定期テスト (2)ワークシート (3)ワークシート	3
9	対比を捉える	●										「量の時代から質の時代へ」甲斐かおり	(1)小テスト・定期テスト (2)ワークシート (3)ワークシート	3
9		●										フォーカス グラフの種類と特徴 論理の窓⑤		2
10	主張をつかむ	●										ウォームアップ・例題	(1)小テスト・定期テスト (2)ワークシート (3)ワークシート	2
10		●										「デジタル地図から見える世界」松岡慧祐	(1)小テスト・定期テスト (2)ワークシート (3)ワークシート	5
11	比べて読む	●										フォーカス対比を使って主張する 論理の窓③		4
11		●										ウォームアップ・例題	(1)小テスト・定期テスト (2)ワークシート (3)ワークシート	3
12	論理的に書く	●										「人工の自然」坂村健	(1)小テスト・定期テスト (2)ワークシート (3)ワークシート	4
12		●										フォーカス 要約の方法 論理の窓④		3
1	論理的に書く	●										ウォームアップ・例題	(1)小テスト・定期テスト (2)ワークシート (3)ワークシート	3
1		●										「紙の本は必要か不要か」600字の小論文作成		2
1		●										根拠をふまえて主張を書こう	(1)小テスト・定期テスト (2)ワークシート (3)ワークシート	2
2	論理的に書く	●										構成を考えて書こう	(1)小テスト・定期テスト (2)ワークシート (3)ワークシート	2
2		●										反論を想定して書こう		2
2	論理的に書く	●										文章を磨き上げよう		5

# 国語科年間指導計画【古典探究】

## ■単位数

2単位

## ■使用教科書

精選古典探究（第一学習社）

## ■目標

- 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語的的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のおり育成することを目指す。
- 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
  - 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
  - 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

## ■内容

〔知識及び技能〕  
 (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。  
 ア 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。  
 イ 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めること。  
 ウ 古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めること。  
 エ 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めること。  
 (2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。  
 ア 古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めること。  
 イ 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めること。  
 ウ 時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めること。  
 エ 先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めること。

〔思考力、判断力、表現力等〕  
 A 読むこと  
 (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。  
 ア 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えること。  
 イ 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えること。  
 ウ 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価すること。  
 エ 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察すること。  
 オ 古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりすること。  
 カ 古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりすること。  
 キ 関心をもった事柄に関連する古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めること。  
 ク 古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりすること。

## ■評価の観点とその趣旨

(1) 知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができる。
(2) 思考・判断・表現	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。
(3) 主体的に学習に取り組む態度	言葉を通して積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

## ■指導計画

月	単元名	知識及び技能						思考力、判断力、表現力等						言語活動	教材	評価の観点及び評価方法	配当予定時数					
		(1)			(2)			読むこと														
		ア	イ	ウ	エ	オ	カ	ア	イ	ウ	エ	オ	カ					キ	ク			
4	説話（一） 著名な和歌にまつわる話を読み、背景を理解する。	●																言語活動～小式部内侍と和泉式部について話し合おう	小式部内侍が大江山の歌の事（橋成季「古今著聞集」）	(1)小テスト・定期テスト (2)ワークシート (3)ワークシート	4	
	随筆（一） 争乱と政変の時代を生きた作者のものの見方や考え方を深める。		●															無常観の表現を理解する	あだし野の露消ゆるときなく（「徒然草」）	(1)小テスト・定期テスト (2)ワークシート (3)ワークシート	4	
5	故事・寓話 現在使われている言葉の由来となった漢文を読み、日本語に与えた影響を理解する。						●											言語活動～友情に関する故事成語の由来と意味を調べよう。	知音（「呂氏春秋」）	(1)小テスト・定期テスト (2)ワークシート (3)ワークシート	4	
6	古代の史話 戦国時代の背景と作中に描かれた孟嘗君の考えや人物像を読み取る。																		鶏鳴狗盗（「十八史略」）	(1)小テスト・定期テスト (2)ワークシート (3)ワークシート	4	
	名家の文章 本文の展開とともに、比喩に込められた作者のものの考えについて理解を深める。																	唐宋八大家について調べる	韓愈（「雑説」）	(1)小テスト・定期テスト (2)ワークシート (3)ワークシート	4	
7	物語（一） 歌物語から古典の世界の多様性を知る。	●																	伝統的な行事や歴史を知ろう。	苔の衣（「大和物語」）	(1)小テスト・定期テスト (2)ワークシート (3)ワークシート	6
	随筆（二） 内容・形態によって表れたものの見方や考え方を理解する。																	清少納言と漢詩について調べよう	二月つごもりごろに（「枕草子」）	(1)小テスト・定期テスト (2)ワークシート (3)ワークシート	5	
9	項羽と劉邦 登場人物の描写を読み解き、戦乱の時代を生きた人々の人物像に考察を深める。																	劉邦の人物像をまとめよう	四面楚歌（「史記」）	(1)小テスト・定期テスト (2)ワークシート (3)ワークシート	5	
10	日記（一） 女性による日記文学から自己の内面を赤裸々に綴った心情描写に触れる。																	平安朝の結婚による悩みや不安を理解しよう	うつろひたる菊（「蜻蛉日記」）	(1)小テスト・定期テスト (2)ワークシート (3)ワークシート	6	
11	物語（二） 歴史物語という実際の歴史から宮中を中心とする権力者たちの姿の一端に触れる。																			弓争い（「大鏡」）	(1)小テスト・定期テスト (2)ワークシート (3)ワークシート	5
	漢詩の鑑賞 漢詩の表現や技法の理解を深め、古代中国への思いや考えを広げる。																			中国の詩 除夜寄弟妹（白居易） 日本の詩 不出門（菅原道真）	(1)小テスト・定期テスト (2)ワークシート (3)ワークシート	3
12	物語（三） 軍記物語を読んで、登場人物の行動とそれを支える思想や歴史的背景を理解する。	●																もうひとつの『平家物語』を比較、違いをまとめよう。	忠度の都落ち（「平家物語」）	(1)小テスト・定期テスト (2)ワークシート (3)ワークシート	9	
1	諸家の思想 老子 儒家と対立する道家の古典である『老子』を読み、古代中国思想の理解を深める。																	名句・名言について調べる	老子 小国寡民	(1)小テスト・定期テスト (2)ワークシート (3)ワークシート	3	
2	和歌・俳諧																	切れ字を使って俳句を作る	万葉集・古今和歌集・新古今和歌集	(1)小テスト・定期テスト (2)ワークシート (3)ワークシート	3	
	不思議な世界 人に何らかの影響を及ぼす「虫」という考えに触れ、劉氏にとつての酒虫の意味を考える。																	読み比べる・酒虫	酒虫	(1)小テスト・定期テスト (2)ワークシート (3)ワークシート	5	